

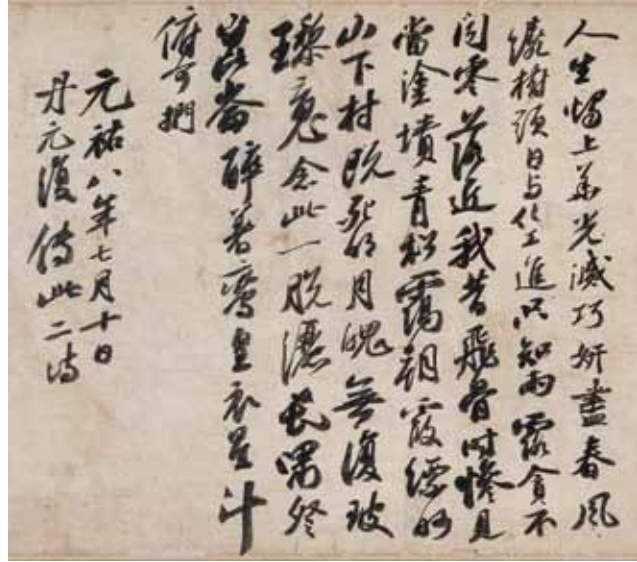


京都大学文学研究科主催 市民講座（於京都・東京）

協力・関西中国書画コレクション研究会

関西中国書画コレクションと京都大学

— 収集から一世紀、その意義を振り返る —



京都会場

2011/1/15(土) 14:10 ~ 15:30(受付開始 14:00、以下同)

「上野コレクションと内藤湖南」

京都国立博物館学芸部長、京都大学客員教授 西上 実

1/22(土)

「関西中国書画コレクションと京都学派」

京都大学名誉教授 曾布川 寛

2/5(土)

「関西の美術館で楽しむ中国の書」

大阪市立美術館主任学芸員 弓野 隆之

2/12(土)

「内藤湖南の書画論」

京都大学准教授 宇佐美 文理

2/19(土)

「関西の中国絵画の優品をみる

— 研究と鑑賞の視点 —

黒川古文化研究所研究員 竹浪 遠

会場：大学コンソーシアム京都 4階第3講義室(JR京都駅前)

東京会場

2011/1/29(土) 13:30 ~ 16:30(受付開始 13:00)

上記講座のうち、曾布川・西上・宇佐美の三講師による同題の講演会を行います。

会場：京都大学東京オフィス (JR品川駅前)

大正5年(1916)、京都帝国大学(現京都大学)の文学部東洋史講座の教授であった内藤湖南は、当時の清朝倒壊による文物の流出について、『美術画報』において次のように書き記しています。「かの義和団の乱の折には、清朝御府の名品が夥しく出たが、其の後の革命では御府のものや親王家其他大官連のものが、続々として市場に出た」。そして、この文章に続けて「大抵は関西地方の好事家の手に納められて居る」とも述べています。2011年は、辛亥革命(1911)からちょうど100年の節目に当たり、折しも、これら好事家たちの集めた中国書画を収蔵する関西の九つの美術館・博物館が一年強にわたって関係展示を次々に行う「関西中国書画コレクション展」が催されます。京都大学文学研究科では、この機会に合わせて「関西中国書画コレクションと京都大学」と題した市民講座を開催することになりました。湖南を始め、神田喜一郎や富岡謙蔵といった京大関係者、あるいは京都大学と密接なつながりを持った長尾雨山、羅振玉など、その収集に深く関わった人々の話題を中心に、関西のコレクションの成立とその豊富な内容を紹介します。中国美術に興味を持たれる諸氏のみならず、広く東洋文化に関心のある方の御来聴をお待ちしています。

京都会場

会場：大学コンソーシアム京都(JR京都駅前)4階第3講義室
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る
電話：075-353-9100

時間：いずれも 14:10~15:30 (14:00 受付開始)

2011年1月15日(土)

「上野コレクションと内藤湖南」

京都国立博物館学芸部長、京都大学客員教授 西上 実

1月22日(土)

「関西中国書画コレクションと京都学派」

京都大学名誉教授 曾布川 寛

2月5日(土)

「関西の美術館で楽しむ中国の書」

大阪市立美術館主任学芸員 弓野 隆之

2月12日(土)

「内藤湖南の書画論」

京都大学准教授 宇佐美 文理

2月19日(土)

「関西の中国絵画の優品をみる —研究と鑑賞の視点—」

黒川古文化研究所研究員 竹浪 遠

東京会場

2011年1月29日(土)

左記講座のうち、曾布川・西上・宇佐美の三講師による同題の講演会を行います。

会場：京都大学東京オフィス

〒108-6027 東京都港区港南 2-15-1

品川インターシティ A棟 27階

電話：03-5479-2220

時間：13:30 ~ 16:30 (13:00 受付開始)

いずれも聴講無料・事前申し込み不要(定員：京都会場 170名、東京会場 100名。満席の場合はその時点で受付を終了させていただきますのでご了承下さい)

◎問い合わせ先：京都市左京区吉田本町

京都大学文学研究科総務掛 075-753-2700

表面図版(右上より時計回り)

重要文化財 探花図 石鋭筆 明 橋本コレクション
十七帖(宋拓) 王羲之 東晋 京都国立博物館
内藤湖南(1866~1934)

重要文化財 安晩帖 八大山人筆 清 泉屋博物館

重要文化財 李白仙詩 蘇軾筆 北宋 大阪市立美術館

裏面(背景)

花卉図冊 惲寿平筆 清 大阪市立美術館



大学コンソーシアム京都(キャンパスプラザ京都内)



京都大学東京オフィス